

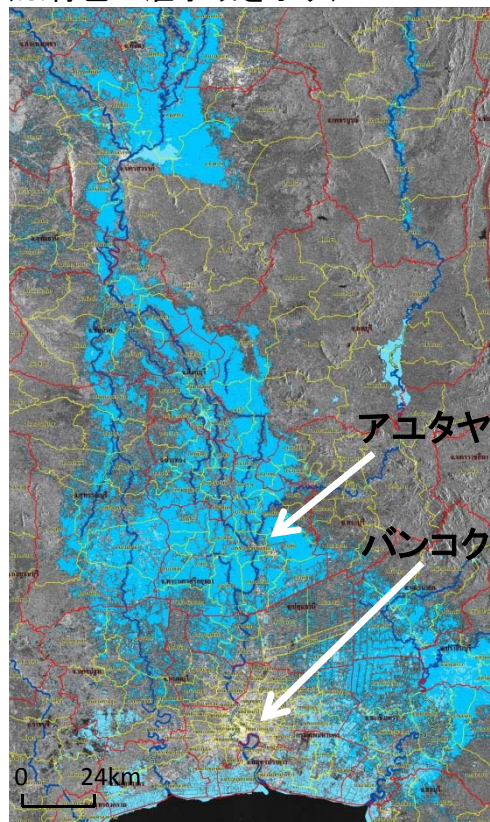
タイ洪水被害に対する
国際緊急援助隊専門家チーム
(排水ポンプ車チーム)の活動

平成24年1月4日

タイへの排水ポンプ車の派遣

- 国土交通省は、洪水被害を受けたタイへの排水支援の一環として、排水能力が高く機動性に優れた国土交通省所有の排水ポンプ車10台をタイに派遣（初の海外派遣）。
- 派遣した排水ポンプ車は、毎分30m³の排水能力を持ち、25mプールを約10分で空にすることが可能。なお、東日本大震災においても津波浸水地域の排水活動に従事。
- 11月5日に横浜港を出港し、同18日にタイ国に到着。バンコク中心部において、タイ王国コンユット副首相他の列席によりタイ政府主催の排水ポンプ車到着式典が執り行われた。

【タイの衛星画像(10月17日)】
(※青色が湛水域を示す)



【到着式典】



コンユット副首相あいさつ



国際緊急援助隊の決意表明

【排水ポンプ車】



排水ポンプ車チームの活動状況

- 国土交通省地方整備局、外務省、JICA、民間企業による官民連携の国際緊急援助隊専門家チーム(排水ポンプ車チーム)計51名(のべ880人・日)により排水作業を実施。
- 11月19日のロジャナ工業団地での排水開始を皮切りに、工業団地や住宅地等の冠水地域において、12月20日までの32日間で約810万 m^3 (東京ドーム約7杯分、25mプール約23,000杯)を排水。

【排水作業位置図】



【排水実績】

- ①ロジャナ工業団地: 11/19～11/27 (9日間)
推定排水量: 約230万 m^3 : 25mプール約6,400杯
- ②バンカディ工業団地及び周辺住宅地
: 11/26～12/8 (13日間)
推定排水量: 約250万 m^3 : 25mプール約6,900杯
- ③アジア工科大学院: 11/29～12/8 (10日間)
推定排水量: 約40万 m^3 : 25mプール約1,100杯
- ④ナワナコン工業団地: 11/30～12/8 (9日間)
推定排水量: 約50万 m^3 : 25mプール約1,400杯
- ⑤プライバーン町住宅地: 12/8～12/14 (7日間)
推定排水量: 約40万 m^3 : 25mプール約1,100杯
- ⑥ラックホック地区(ランシット大学及び周辺住宅地): 12/9～12/17 (9日間)
推定排水量: 約30万 m^3 : 25mプール約800杯
- ⑦サイノイー村住宅地: 12/14～12/20 (7日間)
推定排水量: 約170万 m^3 : 25mプール約4,700杯

排水ポンプ車チームの活動状況

- 排水ポンプ車チームは、ポンプ排水の実施に当たり、**タイ政府や現地関係者との調整、現地調査を実施。**
- 排水ポンプ車の移動、設置、管理に関しても**タイ作業員に対して技術指導を実施**

タイ政府や関係者との調整

【日タイ合同会議の状況(於:工業省)】



【現地関係企業との打合せ】



現地調査



タイ作業員への技術指導



排水ポンプ車チームの活動状況

○ 湛水した水はゴミや油等を含むなど過酷な排水環境であったが適切に対処し、また、24時間体制の排水活動により、現地当局の予想を上回る速度での排水に成功。

排水作業

【ポンプ排水の状況】



【夜間巡回】



排水の効果

【排水前(11/23)】



【排水後(11/26)】



【排水前(11/19)】



【排水後(11/26)】



前田国土交通大臣への帰国報告(中間報告)

○ 国際緊急援助隊排水ポンプ車チームとして、タイの排水活動に関する技術指導を行った専門家が帰国することを受け、前田国土交通大臣に対して中間報告を実施。

【前田国土交通大臣への報告】



報告者(帰国した専門家):
四国地整企画部 技術開発調整官 藤山 究
北陸地整企画部施工企画課 課長補佐 宮島 実

報告概要

- ・タイの洪水被害は非常に大規模であり大きな被害が発生。
- ・タイ側の技術者も非常に優秀であり、短期間で技術を習得し、日・タイ合わせたチームとして活動を実施。
- ・慣れない土地での緊急的な防災対応を円滑に実施するためには、**平常時からの意見交換・情報交換が重要と実感した。**
- ・具体的には、タイとの調整や日系企業も含めた現地支援体制の構築において、**調整のカウンターパートや、タイ側の体制、協力頂ける企業等の情報が事前に明らかであれば、より支援がより円滑になったと思われる。**
- ・今回の活動の経験や得られた知見を、今後の協力を活かしていきたい。

ワナラット工業大臣現地視察時の発言

- ・ポンプ車と共に多くの専門家の派遣に感謝
- ・支援により、工業団地の排水が予定より早く終わったことに感謝。
- ・日本の仕事の仕方やチームワークの素晴らしさに驚かされ勉強になった。



タイ工業省での活動終了式典(12月23日)

- 12月23日(金)、タイ工業省において、活動終了式典が開催された。
- ワンナラット・チャーンヌグン工業大臣より、排水ポンプ車チームの活動に対する感謝の言葉が述べられた。



左から、JICAタイ事務所米田所長、小島大使、工業大臣、工業省パス局長



挨拶する柳沢団長



式典に臨む団員一同

工業大臣からの挨拶（要旨）

- ・ 今回、日本からは、多くの物資支援のほか、**排水ポンプ車での排水支援**を行って頂いた。**今後の長期的な洪水対応について多くのアドバイス**ももらった。
- ・ 24時間体制で活動する**排水ポンプ車チーム**に感銘を受けた。
- ・ 排水ポンプ車チームの活動により、**当初の予定より早く排水活動を進めることができ**、洪水により苦しんでいた多くのタイ国住民が早く元の生活に戻ることができた。
- ・ 隊員の皆様に心より感謝。タイには「**困ったときは真の友人が助けてくれる**」ということわざがあるが、今回はまさにそのとおりとなった。観光客、第二の故郷として、タイに戻ってきてほしい。